

KiPU 大学昇格100年記念フェスティバル in 関西「機友会の集い」報告

日 時：2022年10月9日(日) 12時30分～13時30分

会 場：関西大学 千里山キャンパス 第2学舎(経商学部)2号館4階C403教室

会 費：無料。機友会会計(総会・懇談会費)より一人1,000円限度を補助。実質執行額7,085円

出 席：15人(10月9日最終確定数)

No.	氏 名	卒業年・研究室・住 所	備 考
1	紀和 隆	S39・機力・奈良県	相談役・元会長
2	南 英之	S40・熱・愛媛県	会 員
3	林 義夫	S42・設計・大阪府	会 長
4	北嶋 弘一	S42・工作・京都府	副会長・関西大学校友会 参与・関西大学 顧問
5	奥田 浩一	S45・材料・愛知県	会 員
6	田村 吉章	S45・機力・大阪府	幹 事
7	中原 住雄	S47・応物・京都府	副幹事長
8	柳澤 民紀	S47・設計・愛知県	副会長
9	緒方 正則	S48・設計・大阪府	幹事長
10	宇都宮 道人	S50・設計・滋賀県	会 員
11	大和 達男	S50・材料・兵庫県	幹 事
12	長瀬 慎一	S51・設計・大阪府	会 員
13	坂田 信雄	S52・熱・大阪府	副幹事長
14	小坂 圭一	S55・工作・兵庫県	会 員・関西大学校友会 広報部長
15	富村 哲男	S61・設計・大阪府	幹 事

1. 会長挨拶

2. 自己紹介(名札と本紙により幹事長が紹介)

3. 幹事長より報告・提案

(1)機友会旗の所在について

昭和37(第1期)、38、39年の卒業アルバムには会旗の写真が見られるが、現在は所在不明。



左は昭和36年、第1期生が三菱重工(長崎)を見学した際に同社 稲佐寮にて撮影されたもの。

会旗にみられる当時の名称は

「関西大学工学部機友会」

記章は 

(2)機械工学科学生との交流(現在、各学年240名程度在籍)

特定科目(例えば「機械工学入門」など。講義回数15週)において、ゲストスピーカー制度があれば、会員による実社会における経験談など、豊富な話題提供ができることを学科教育主任に提案する。

このためには、講師と内容について事前に決めておく必要がある。なお、田村吉章幹事が大学院の熱工学領域の講義でゲストスピーカーを務めた実績がある。

(3)機械工学科教員との交流

総会において、機械工学科にある10研究室から毎回1～2研究室の紹介を依頼する。

機械工学科には教員35名、技術系事務職員4名が在籍。本学出身者はそれぞれ8名、2名。

4. 「関東地区の会」の活動

最近の開催は2008年に始まり、2009、2012年の計3回開催されている。当時、会の世話人代表をされていた田村吉章幹事より提供された活動記録(資料5)を基に動向をお話いただいた。

5. 会場より提案・発言

これまでの活動を振り返り、今後機友会活動をさらに隆盛とすることについて鋭意提言をいただいた。

集合写真撮影

散 会(自由懇談)

資料1. 会員資格、会費の変遷

- (1)1978(S53)年10月29日:会則改定により、現役学生・教員の会から卒業生・教員の会となる。
年会費制を廃止して終身会費1万円に移行。
- (2)1998(H10)年8月22日:終身会費制を廃止。
機友会資産(繰越金) 2000年4,263,120円。2022年3,296,235円。
平均執行額:約4万4千円/年

資料2. 関西大学 機械系学科(機械工学科、機械工学第二学科、機械システム工学科)出身の教職員数

教員8名、テクノサポート(技術系事務職員)2名 2022年4月1日 現在 (敬称略)

研究室 [構成人数] (旧名称)	氏名 (卒業年)	研究室 [構成人数] (旧名称)	氏名 (卒業年)
材料工学 [4]	教授 宅間 正則 (S60) システム理工学部 学部長 機友会 会計 准教授 佐藤 友広 (H14)	生産加工システム[3] (機械工作)	—
熱工学 [4]	教授 梅川 尚嗣 (S61) 機友会 副会長 准教授 網 健行 (H7) 機友会 監査役	機械設計 [4]	—
機械力学・制御工学 [4] (機械力学)	准教授 倉田 純一 (S56)	計測システム [3] (計測工学)	教授 新井 泰彦 (S52)
ナノ機能物理工学 [3] (応用物理)	—	流体工学・ バイオメカニクス[4] (流体工学)	准教授 田地川 勉 (H9) 機友会 副会計
人間工学* [3]	教授 小谷 賢太郎 (S62)	ロボット・マイクロ システム* [3]	—
テクノサポート [4] (技術系事務職員)	松本有司 (H16)、大隅啓介 (H22)		在籍総数 39名 教員 35名 テクノサポート 4名

* 2007年4月発足の新学部構成により、システムマネジメント工学科(旧管理工学科)が廃止され分割編入
1958年(昭和33年)に工学部が開設され、4学科(機械工学、電気工学、化学工学、金属工学)が設置された。
2007年の学部改組を経て、現在は理工系3学部9学科構成となっている。

- ・システム理工学部 : 機械工学科、電気電子情報工学科、数学科、物理・応用物理学科
- ・環境都市工学部 : 建築学科、都市システム工学科、エネルギー環境・化学工学科
- ・生命工学部 : 化学・物質工学科、生命・生物工学科

資料3. 機友会賞

- 第1回の授与は1994年3月、機械・機械システムの2学科から各1名、計2名を表彰。
- 1999年3月より8研究室から各1名を表彰。
- 2011年3月より10研究室から各1名を表彰。
- 2022年3月現在の表彰累計は229名。

資料4. 機械系学科卒業生数 *** : 12,574人 (2022年3月末現在)

学科卒業期間		機械工学科	機械工学第二学科	機械システム工学科
工学部	1962.3-2010.3	5,358	—	—
	1967.3-1994.3		3,133	—
	1995.3-2010.3		—	1,675
システム理工学部 2011.3-2022.3		2,408	(2007年4月より機械工学科に統一)	

*** 関西大学校友会の御厚意により幹事長作成。留年・休学など卒業年遅れは正規卒業年に繰入れ。

資料 5. 「関東地区の会」の活動（幹事 田村吉章 提供。幹事長による追記・修正）

5. 1 開催履歴

(1)第1回

- ・日 時:2008(平成20)年9月12日(金) 18:30-20:00
- ・場 所:関西大学東京センター 会議室(東京駅日本橋口そば、「サピアタワー」9階)
- ・会 費:2,000円。総経費81,586円(寄付1,000円を含まず)。機友会補助27,586円。
- ・出 席:27名(当初28名。当日欠席1名)
下間頼一名誉教授、1962(昭和37)～2005(平成17)年卒業生26名
内、関東在住者18名、昭和37年卒業(第一期)生 8名
詳細は別表1参照

(2)第2回

- ・日 時:2009(平成2年)年9月4日(土)18:00-20:00
- ・場 所:第1回に同じ
- ・会 費:2,000円。若手の会(二次会参加11名)1,000円。総経費94,431円。機友会補助45,431円。
- ・出 席:19名
1962(昭和37)年～2005(平成17)年卒業生
内、関東在住者9名、昭和37年卒業(第一期)生 5名
詳細は別表2参照

(3)第3回

- ・日 時:2012(平成24)年11月2日(金)18:00-20:00
- ・場 所:第1回に同じ
- ・会 費:2,000円。総経費80,187円。機友会補助48,187円。
- ・出 席:16名
1962(昭和37)年～1980(昭和55)年卒業生
内、関東在住者12名、昭和37年卒業(第一期)生 8名
詳細は別表3参照

5. 2 関西大学工学部機友会関東地区の会における行事内容について

- ・報 告:2009(平成21)年9月4日(第2回開催時)
- ・提 言:機友会 幹事長 長谷川洋司、機友会 関東地区担当幹事 田村吉章

主 文

関西大学卒業生は、現状では、毎年1,000人程度が東京に就職している。おそらく全体では2万人程度が東京で就職していると推測される。(関大大学 東京センター長 石山氏談)

この中で工学部機械系を卒業し東京方面に就職している人は約5%(1,000人程度)と推測され、昭和37年に卒業された一期生から今年の卒業生まで関東地区で在住され、活躍されている。これらの卒業生間で年次を縦断して交流できる機友会行事を関西大学東京センターを中心に実施する。

1. 行事内容

機友会ホームページには「仲間が寄り集まって楽しく過ごし、先生方とも親しくなって、互いに研鑽し・学び、場合によっては仕事上の問題解決の糸口を見つけたり、そして久しぶりに緑あふれる関大のキャンパスでひとときを過ごせるきっかけもほしい」とあります。この趣旨に合わせて関東地区に在住され、活躍されておられる卒業生に東京センターに集っていただき、互いの交流を深めていただくとともに、異業種交流も兼ねて諸先輩方から先進技術開発、人生に対する考え方や経験談を講演していただく。また、関大機械系先生方にも参加していただき大学の現状、産学連携や研究の状況について説明をいただきリクルターとしての意識を上げてもらう。

2. 実施手順-

- ①最初は、互いの情報交換と懇親を中心に年1-2回実施する。

②数回実施する間に参加者からのニーズを把握し参加者からや諸先輩の講演等を入れることにより内容の充実を図る。

③実施時期を会社訪問やインターンシップの時期に合わせ、就職活動中の在學生と卒業生の交流の場を設ける。

3. その他

- ・先生方に過去5年程度の関東圏に就職した卒業生を紹介していただく。
- ・行事に参加した卒業生から仲間を紹介してもらう。
- ・その結果、関東地区在住者の名簿を逐次作成する。(個人情報保護に関する注意が必要)
- ・今後本会の運営を数人の世話役が必要。(若手の中からも世話役を選ぶ)
- ・行事は参加者から参加費を1,000円程度いただき、また、機友会から補助と合わせ行事を運営する。

以上

別表1. 第1回参加者 27名

No.	氏名	所属研究室	卒業年	勤務先等
1	下間頼一	機械設計	1958-1995在職	関西大学名誉教授
[2]	伊野進	機械設計	1962年(S37)	元ダイハツ工業
[3]	尾井弘昌	制御工学	1962年(S37)	
[4]	奥村嘉賀男	機械設計	1962年(S37)	(株)超電導機構
[29]	中村一郎	熱工学	1962年(S37)	
[5]	長友康夫	機械設計	1962年(S37)	
[6]	室義一郎	機械設計	1962年(S37)	ムロコーポレーション
[7]	山根達夫	機械工作	1962年(S37)	
[8]	横林寛昭	機械設計	1962年(S37)	(株)YBI
9	北嶋弘一	機械工作	1967年(S42)	関西大学システム理工学部
[10]	中嶋昌平	機械設計	1967年(S42)	ムロコーポレーション
11	長谷川洋司	機械力学	1967年(S42)	元 長谷川鉄工(株)
12	林 義夫	機械設計	1967年(S42)	(株)ヒラカワガイダム
13	本田哲也	機械設計	1967年(S42)	豊能運送(株)
[14]	川室伝三郎	機械力学	1969年(S44)	ムロコーポレーション
[15]	小杉 茂	機械力学	1970年(S45)	ソニー・ヒューマンキャピタル(株)
16	遠藤憲雄	応用物理	1970年(S45)	エナジーメイト(株)
[17]	田村吉章	機械力学	1970年(S45)	(社)火力原子力発電技術協会
18	田北正昭	計測工学	1972年(S47)	タキタ技研(株)
19	中原住雄	応用物理	1972年(S47)	関西大学システム理工学部
[20]	碓 清昭	計測工学	1972年(S47)	(株)コニカミノルタ
[21]	平井 忠	計測工学	1972年(S47)	郵船商事(株)
22	緒方正則	機械設計	1973年(S48)	関西大学システム理工学部
[23]	村崎 巧(欠)	材料工学	1974年(S49)	(財)材料・物質研究機構
[24]	宮崎陽子	応用物理	1984年(S59)	(株)東京精密
[25]	山崎起典	生産加工システム	1986年(S61)	(株)鴻池組
[26]	谷 立	応用物理	1990年(H02)	(株)リコー
[27]	川上浩樹	応用物理	2000年(H12)	日立化成工業(株)
[28]	岩本敏治	応用物理	2005年(H17)	住友金属(株)

[]は関東地区在住者。卒業年・五十音順。勤務先は当時を示す。

別表2 第2回参加者 19名

No.	氏名	所属研究室	卒業年	勤務先等
1	伊野 進	機械設計	1962(昭和37)	元 ダイハツ工業
[2]	奥村嘉賀男	機械設計	1962(昭和37)	(株)超電導機構
[3]	中村一郎	熱工学	1962(昭和37)	(株)エヌ・アルアル
[4]	長友康夫	熱設備	1962(昭和37)	(株)アースセイブ
[5]	室義一郎	機械設計	1962(昭和37)	ムロコーポレーション
6	北嶋弘一	機械工作	1967(昭和42)	関西大学システム理工学部
7	長谷川洋司	機械力学	1967(昭和42)	元 長谷川鉄工(株)
8	林 義夫	機械設計	1967(昭和42)	(株)ヒラカワガイダム
9	本田哲也	機械設計	1967(昭和42)	豊能運送(株)
[10]	奥田浩一	材料工学	1970(昭和45)	深田工業(株)
[11]	田村吉章	機械力学	1970(昭和45)	(社)火力原子力発電技術協会
12	中原住雄	応用物理	1972(昭和47)	関西大学システム理工学部
[13]	碓 清昭	計測工学	1972(昭和47)	(株)コニカミノルタ
[14]	平井 忠	計測工学	1972(昭和47)	郵船商事(株)
15	緒方正則	機械設計	1973(昭和48)	関西大学システム理工学部
[16]	磯崎洋一	機械設計	1980(昭和55)	ネットワンシステムズ(株)
[17]	森 義博	計測工学	1980(昭和55)	三菱電機(株)
[18]	宮崎陽子	応用物理	1984(昭和59)	SEMIジャパン
[19]	岩本敏治	応用物理	2005(平成17)	住友金属(株)

[]は関東地区在住者。卒業年・五十音順。勤務先は当時を示す。

別表 3. 第 3 回参加者 16 名

No.	名 前	所属研究室	卒業年	勤務先等
[1]	奥村 嘉賀男	機械設計	1962(昭和37)	—
[2]	長友 康夫	—	1962(昭和37)	—
[3]	室 義一郎	機械設計	1962(昭和37)	ムロコーポレーション
[4]	川原 邦也	—	1962(昭和37)	—
[5]	滝北 捷次郎	—	1962(昭和37)	元 三菱重工業
[6]	竹田 義孝	—	1962(昭和37)	(逝去)
[7]	中坂 憲二	熱工学	1962(昭和37)	元 東京電力
[8]	島 章	—	1962(昭和37)	建設企画
9	林 義夫	機械設計	1967(昭和42)	ヒラカワガイダム
10	本田 哲也	機械設計	1967(昭和42)	元 ダイハツ工業
[11]	小杉 茂	機械力学	1970(昭和45)	ソニーヒューマンキャピトル
[12]	田村 吉章	材料工学	1970(昭和45)	元 関西電力
13	中原 住雄	応用物理	1972(昭和47)	関西大学 機械工学科
[14]	碓 清昭	計測工学	1972(昭和47)	コニカ
15	緒方 正則	機械設計	1973(昭和48)	関西大学 機械工学科
[16]	森 義博	計測工学	1980(昭和55)	三菱電機

[]は関東地区在住者。卒業年・五十音順。勤務先は当時を示す。「—」は不明。

文責: 幹事長 緒方正則